

代表質問

3月6日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆代表質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が代表質問をしている動画にアクセスできます。

中村とらあき

(自民党)



積極的なふるさと納税対策を

【質 問】減収を防ぐため、これまで以上に積極的な対策を打ち出すべき。

【区 長】今後も国に対し、特別区全体で制度是正を強く求めていく一方で、減収を少しでも防げるよう、クラウドファンディング事業や返礼品の拡大などに取り組んでいく。

地域ネットワーク強化による生活支援について問う

【質 問】自立相談窓口の拡充などを行う際に、これまでのノウハウを生かした事業効果は期待できるのか。

【区 長】地域住民や関係機関などで構成する支え合いのネットワークを生かした地域の見守りや気付きを通じ、誰一人取り残さない官民協働の地域共生社会を推進していく。

子ども食堂について問う

【質 問】子ども食堂に対し、保健所など行政としてどのように関わっているか。
【区 長】職員が定期的に子ども食堂に出向き、巡回相談

【教育長】学校における事前準備や心構えなどを記載した手引きを作成している。関係部署・機関と連携を強化し、適切に受入れが実施できるよう努めていくとともに、受入れ開始後の状況を踏まえ、適宜、見直しを行っていく。

フリースクールとの連携について問う

【質 問】不登校問題の解決を図るためには、学校以外による支援の活用が必要と考える。連携体制・相談体制は。

【教育長】フリースクールの協力を得て、青少年問題協議会の委員や不登校生徒対象の進路相談会に参加いただくなど、連携を深めている。

ゲートキーパーについて問う

【質 問】養成方法やフォローアップ体制は。

【区 長】5年度から、企業や町会・自治会など様々な主体に講師を派遣する出張研修を行う。受講後は、自殺対策の最新情報などを届け、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざしていく。

脱炭素社会の実現に向けて

【質 問】区施設の太陽光発電については、パネルの廃棄やフィルム型太陽電池の実用化などの技術革新を踏まえた計画を立て、施策の推進を。

【区 長】技術開発や費用対効果などの状況を注視し、判断していく。廃棄は、都が5年度から、リサイクルルートの確立などを推進することから、この動きに連動していく。

いたばしPayの持続可能な利用について問う

【質 問】運営主体や店舗、利用者などに負担が少ない仕

組みが求められるが、見解は。
【区 長】持続的な安定運用を確立していくためには、取扱店舗の拡大と、利用者数の増加が重要である。今後も、商店街振興組合連合会と協議して取り組んでいく。

高島平のまちづくりを問う

【質 問】高島平地域のまちづくりにおいて、都市計画を策定する必要性は。

【区 長】駅周辺の商業・業務機能の強化や良好な住環境の形成に向け、土地利用や施設整備を適正に誘導するため必要な方策だと考えている。

大山駅周辺地区及び上板橋駅南口地区への支援策を問う

【質 問】まちづくりにおいて商店街のテナント数が減少し、商店街活動に深刻なダメージを与えていることから、支援策を求める。見解は。

【区 長】再開発事業により影響を受ける商店街については、適切な支援を講じていく。



上板橋駅南口駅前東地区再開発事業完成イメージ

都立城北中央公園を問う

【質 問】再整備について今後どのように進めていくのか。

【区 長】再整備は都が実施主体であるが、継続して意見交換や情報共有を進めていく必要がある。コロナで休止していた近隣区による会議体も

4年度から再開しており、引き続き、魅力ある公園整備の実現に向けて取り組む。
ひきこもり対策を問う

【質 問】ひきこもりに関する実態調査の結果に基づく、今後の事業展開は。

【区 長】5年7月に、ひきこもりに特化した相談窓口を設置し、来所が難しい方にはオンライン相談を行うほか、家庭訪問などのアウトリーチ、関係機関への同行支援を行う。

パートナシップ制度を問う

【質 問】ダイバーシティ&インクルージョンの推進に向け、都と連携が進むことが期待されている。今後の展開は。

【区 長】区では、パートナシップ宣誓制度の5年度中の創設に向けた検討を行っている。制度の創設や区民サービスの拡大にあたっては、都との連携に留意するほか、区民へ丁寧な説明を行っていく。

新型コロナウイルス感染症対策について問う

【質 問】感染症法上の位置付けが5類に移行された後のコロナ患者への対応方法は。

【区 長】発生届が不要となり、自宅療養者に対する健康観察や療養支援などは終了となるが、引き続き、コロナに関する相談を継続していく。

中小企業・個人事業者対策について問う

【質 問】コロナ禍やエネルギー・物価高騰への対策として実施してきた取組みについて、今後に向けた改善点は。

【区 長】今後、同様の支援を行う場合は、できる限り簡易な申請で、より多くの事業者が活用できる制度となるよう、改善を図っていく。

う、改善を図っていく。
防犯対策を問う

【質 問】特殊詐欺などの犯罪が巧妙化している。防犯活動とともに拡充すべき対策は。

【区 長】特殊詐欺被害の防止に向け、区の簡易型自動通話録音機配付事業をはじめ、警察署や関係団体などと連携したイベントや講座の実施など、様々な対策を講じていく。

保育園事業者に対する運営支援について問う

【質 問】急速な少子化の影響により、保育園運営は極めて厳しい状況にある。運営支援を実施すべき。

【区 長】4年度から0歳児の欠員数に応じた運営費の支援のほか、入所実態を踏まえた定員設定が可能となるよう、利用定員の運用を変更した。

保育の質の向上を求めて

【質 問】子どもたちの安全を脅かすようなリスクに対し、保育施設にどのような支援を行っているのか。

【区 長】事業者に対し、必要な経費を助成するほか、研修による人材育成の機会を提供し、保育の質の向上に取り組んでいく。

男性の家事・育児の参画支援を問う

【質 問】今後の展開は。

【区 長】子育て支援策の連携や適切な情報発信を通じ、家事・育児への参加にとどまらず、参画レベルに上がるよう、意識を高めていく。

児童相談所の役割を問う

【質 問】児童虐待通告件数は増加傾向にあるが、児童相談所の担う役割は。

平和事業の充実について問う

【質 問】区民の平和活動を支援する補助金の創設や、「中学生平和の旅」の派遣先に沖縄を追加するなど、平和事業を拡充すべき。

【区 長】一般の平和を脅かす世界情勢に鑑み、平和意識の高揚と継承の重要性は高まっており、より効果的な平和事業となるよう検討していく。

震災対策について問う

【質 問】在宅避難時に給水拠点施設を利用する場合、区

【区 長】早期発見・早期対応を実現するため、関係機関へのアウトリーチなどを通じて、リスクのある家庭を把握し、支援につなげていく。

子どもまんなか社会を問う

【質 問】子どもを真ん中に据えて、健やかな成長を後押しすることもまんなか社会の実現に対する区の見解は。

【教育長】総合的な学習の時間やいたばし学級活動の日などの充実を通じ、新たな価値を創造する力など3つのコンピテンシーを育成し、子どもウェルビーイングという幸せな状態を実現していく。

子ども基金の設立を求めて

【質 問】子どもに特化した施策展開を加速するために、子ども基金の設立を。

【区 長】いたばし子ども未来応援宣言の理念のもと、基金の活用も含めた子育て支援の仕組みづくりに努めていく。

田中いさお



(公明党)

民はどのような準備が必要か。
【区 長】ポリタンクやペットボトルなど、水を入れる容器を用意するほか、運搬用に簡易な台車やリュックサックなどがあれば便利である。

人口減少への対応を問う

【質 問】近隣住民や区外地域からも人が集うような魅力あふれる公園を整備すべき。

【区 長】これまで、こども動物園や水車公園など、特色のある公園づくりを進めてきた。史跡公園など、新たなコンセプトで出発する公園を含め、専門的知見や民間活力を大切にすることで、区内外から愛される公園をめざす。

基本目標「未来をほぐくむ あたかいまち」を問う

【質 問】子ども家庭総合支援センターにおける一時保護所の運営について、課題とそ

【区 長】一時保護所の職員には、専門的なケアと適切な行動観察を行う能力が重要であり、日々の実践と学びから、職員のスキル向上を図り、安定した運営をめざしていく。

【質 問】都は、0〜2歳の第2子の保育料を無償化する5年度予算案を発表した。次の段階として、すべての子どもたちの保育料無償化を検討すべきと考えるが、見解は。

【区 長】国や都の動向を注視しながら、様々な視点から子育て支援策を検討していく。
【質 問】流産や死産などで子どもを亡くした方の悲しみ